

# 三叉神経痛・片側顔面けいれんの 専門外来が開設

済生会和歌山病院で診療をスタート

専門外来を担当する小倉光博医師



「顔面が激しく痛む病  
気、三叉(さんさ)神経  
痛と顔面が勝手にヒクヒ  
ク動く片側顔面けいれん  
は、同じような原因で起  
こることが分かっていま  
す。それは脳血管が脳神  
経を圧迫して起こるケ  
ースです。どちらの病気も  
50歳以上の中年に多く、  
女性に多い傾向がありま  
す」と話すのは、済生会  
和歌山病院(和歌山市十  
二番丁45)の副院長で、  
脳神経外科部長の小倉光

博医師。このたび同院は、  
「三叉神経痛と片側顔面  
けいれん」の専門外来を  
開設しました。

小倉医師は開設につい  
て次のように話します。

**放置するケースが多い症状  
顔の痛みやけいれん、我慢しないで**

「三叉神経痛と片側顔面  
けいれんは、特に生命  
に関わるものではないの  
で、そのまま放置して治  
療が遅れたりします。し  
かし、患者さんにとって

は耐え難い痛みやけいれ  
んのために、不快な思い  
で日常を過ごされている  
ことと思います。専門外  
来では、まずは臨床診断  
とMRI画像診断を行  
い、内科的治療と外科的  
治療について患者さんに  
説明し、患者さんが自分  
の希望に沿った治療を選  
択できるようにします。  
中でも脳血管が脳神経を  
圧迫していることが原因  
である場合は、手術によ  
り約90%が完治につなが  
っています」

「三叉神経とは脳幹から  
顔に向かって伸びる3本  
の神経のことで、顔の感  
覚(痛い、冷たい、温か  
いなど)を脳に伝えます。  
三叉神経痛の症状は、激  
しい痛みが瞬時的に顔面  
に繰り返し起こり、顔や  
口腔(こうくう)の特定の

部位にふれると痛みが誘  
発されるのが特徴です。  
一方、片側顔面けいれ  
んは、脳からの指令で顔  
面の筋肉を動かす顔面神  
経が血管に圧迫されるこ  
とで、不快なけいれんや  
ひきつれが目の周りや  
口の周りに起こる病気で  
す。けいれんは左右どち  
らかに出て両側にならない  
のが特徴です。  
顔面の痛みやけいれん  
などの症状に悩んでいる  
人は、まずは受診してく  
ださい。

済生会和歌山病院の  
「三叉神経痛と片側顔面  
けいれん専門外来」の診  
察日は、毎週火・水・木  
曜(予約制)。予約の受付  
時間は、祝日を除く月  
金曜午前8時45分〜午後  
6時(木曜は5時30分ま  
で)。予約は左記まで。  
☎073(4224)5  
186済生会和歌山病院  
地域医療連携室